

2024 年度 部局 FD 活動報告

農学部・研究科

1. 各部局のFDの検討・実施体制を書いてください。（必ずご記入ください）		
・各学科・専攻の会議にて、学部／研究科教育運営委員が主体となってFD活動を実施した。		
・学部・研究科の教員および学生を対象としたセミナーを農学セミナーとして周知した。		
2. 教育改善・教育評価・FDに関する講演会、セミナー、ワークショップ等の開催		
開催日	内容（タイトル）	参加者数
4月12日（金）	農学セミナー1（植物の栄養輸送システムの理解に向けた試み/反田直之・大阪公立大）	43
5月17日（金）	農学セミナー2（アフリカにおける野生動物の保全と地域の発展のための科学の貢献/寺田佐恵子）	35
7月5日（金）	オープンセミナー1（Functional maturation, mass production and immune-evasion of stem cell derived islets/吉原 栄治・Lundquist Institute at Harbor-UCLA Medical Center, USA）	24
7月22日（月）	農学セミナー3（ネイチャーポジティブ―産業界の農学への期待/柴田大輔・JST、大阪公立大客員教授）	15
10月10日（木）	農学セミナー4（花粉内小胞による Small RNA 輸送とエピジェネティクス制御の新知見、および分泌経路における亜鉛輸送体の役割/河内美樹・Georg-August-Universität Göttingen, Germany）	20
10月22日（火）	農学セミナー5（Sterol diversity and biogenesis in organisms/Hubert Schaller・Strasbourg University, France）	10
11月1日（金）	大阪府立園芸高等学校 DX 加速化推進事業に関する教員向け講習会（実技講習、事例の紹介）	6
12月13日（金）	シンポジウム（植物免疫活性化剤の網羅的探索/能年義輝・岡山大、植物も土壌微生物もしたたかに生きている/村田純・サントリー生命科学財団、植物のコミュニケーション能力を生かした農業技術の開発/山内靖雄・神戸大、殺虫から制虫の転換に向けて/安部洋・RIKEN、温度から考える植物細胞の環境応答メカニズム/稲田のりこ）	150
3. 教育改善・教育評価・FDに関する会議、委員会等の開催		
会議・委員会名	内容・開催日 （複数回の場合は「第1回（＊月＊日）～について」 「第2回…」と記載）	委員の人数
農学研究科教務委員会	第1回（10月2日）農学研究科長期履修実施要領の改正について、全学教務委員会報告など	8

	第 2 回（12 月 23 日）大阪公立大学大学院農学研究科規程の一部改正について、全学教務委員会報告 第 3 回（1 月 8 日）履修課程表のカリキュラム変更について、2025 年度研究科要覧（案）について 第 4 回（2 月 6 日）農学研究科学生のキャンパス内施設の滞在時間に関する申し合わせについて	
農学部教務委員会	第 1 回（6 月 25 日）農学部における転学部・転学科実施内容の検討について、大阪公立大学副専攻の開設について 第 2 回（9 月 30 日）全学教務委員会報告、森之宮キャンパス開講科目における遠隔授業実施の協力について 第 3 回（1 月 14 日）植物工場科学副専攻の 2026 年度以降入学生に対する募集停止について、全学教務委員会報告 第 4 回（2 月 6 日）農学部生のキャンパス内施設の滞在時間に関する申し合わせについて	8
農学部学士課程秋入学に対応する教育組織 WG	第 1 回（11 月 12 日）学士課程秋入学に対応する教育組織への農学部の参画について 第 2 回（2 月 10 日）学士課程秋入学に対応する教育組織について	11
農学部基幹教育 WG	第 1 回（10 月 11 日）基幹教育科目の単位数の変更などについて 第 2 回（11 月 6 日）基幹教育科目（初年時ゼミナール）の意向調査への対応について 第 3 回（12 月 5 日）基幹教育科目（初年時ゼミナール）の意向調査への対応について	10
4. 上記以外の教育改善・FD に関する取組		
農学部入試アセスメントアンケート（1、2 年生対象）を実施		
5. 年に 1 回以上、FD 活動に参加した専任教員の人数〔実数〕（必ずご記入ください）		
・年に 1 回以上、FD 活動に参加した専任教員の人数 (67) 人 ・所属内の専任教員の人数 (67) 人		
6. その他、追記事項		